

東北のなかま

発行 生協労連東北地連

2011年3月1日 10号

電話022-236-9651

FAX 022-283-0035

地連学校部会交流会



2月26日(土)～27日(日)東北地連学校部会交流会&幹事会を秋保クレセントホテルで開催しました。岩手学校2人、秋田学校1人、山形学校4人、みやぎ生協4人と生協労連の清岡書記次長、東北地連の上條書記長など4単組13人が参加しました。地連の4単組すべてが集まったの交流会は、久しぶりでとても楽しくつながりを強められました。会議ではまず今年10月1日 土～2日 日に山形で開催する生協労連学校部会定期総会の企画内容、段取りについて、話し合いました。開催地の山形学校の仲間を他の単組が支援することで、成功させようと確認しました。

また学校現場や経営、春闘の状況について情報交換

をしました。今、学校現場は、児童数の減少、学校統廃合、生協組合員の減少、公務員の給与削減など、経営に厳しい状況が進んでいます。先生方も非常に忙しく、職員室に行っても会えず、おすすめの話しがしづらい状況になっています。その中で供給を伸ばし、利益を確保することが、ますます大変になっています。

一方で売れた話も出ました。秋田学校では、国、県、市町村の住宅リフォーム補助金が上限90万まで出ることを利用して、1件900万ものリフォームの手数料を稼ぎました。また山形学校から「まだパールが卒業シーズンに売れる」という発言があり参加者はビックリ、他生協ではもう売れなくなってやめた所もあります。岩手学校では、ファミリー月間で利用目標1万人に取り組み、この春に10143人の利用を達成しました。みやぎからは、「先生方用の水着、スイミングスーツが売れるので、他生協でもやったらいいよ」というアドバイスがありました。

春闘では、秋田学校とみやぎがすでに要求書を提出しました。岩手学校では、退職引当金の凍結と定期昇給の凍結の申し入れや共同購入の3日から4日配達の変更申し入れなど、経営再建のための様々な方針が出されてきています。

生協労連の清岡さんからは、ぎふや佐賀学校など全国の学校生協の状況について報告がありました。

最後にみんなで記念写真を撮って解散しました。

